

学校教育目標	[心をあわせ あかるくのびる 北綱の子] ・自ら問題を発見し、解決することができる子を育てます(知) ・自分も友達も大切にし、思いやりのある心をもつ子を育てます(徳) ・心と身体をきたえ、安全への知識と態度を身につけ、自分や人の生命と身体を大切にすることを育てます(体) ・北綱島のまちに学び、まちに生きる子を育てます(公) ・様々な社会の変化に対応し、未来をひらく子を育てます(開)
	創立 43 周年 学校長 月橋 準弥 副校長 田宮 真樹 2 学期制 一般学級: 19 個別支援学級: 5 児童生徒数: 人 主な関係校: 日吉台中学校 北綱島特別支援学校

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分の考えをもち、対話を通してよく問題解決を図る力> <つながりを考え、合意形成する姿勢> <伝え合うことで自分の考えを深化させる力> <主体性・積極性>	日吉台中学校 北綱島小学校 日吉南小学校 日吉台小学校 矢上小学校 箕輪小学校(R2 ~	自己のよさに気づき、友達のよさも認めあえる子【笑顔】 進んで他者と関わり合い、地域に生きる子【あいさつ】 ・小中一貫教育推進ブロック内の公開授業、児童生徒交流、教職員の協働で小中一貫教区の質を高める。 ・年間通してあいさつの大切さを指導するとともに、ブロック共通の「あいさつ月間」には、計画委員会を中心とした児童主体のあいさつ運動に取り組む。

中期取組目標	○「チーム北綱島小」として全教職員が学校運営に参画し、活力と魅力ある学校づくりに取り組みます。 ・「教科分担制」を導入し、学級の壁を越えた「チーム指導」を目指す。 ・「主体的に取り組む授業の実践」(知)「挨拶・あたたかい心」(徳)「体力向上・食育」(体)を目指した教育活動を展開する。 ・地域や家庭と連携し、災害を中心とした様々な危険から身を守り、自助・共助の態度を養う安全防災教育の充実を図る。 ・学校運営協議会等を通して、学校・家庭・地域が共通理解を図り、開かれた学校づくりを目指す。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 A 学力向上、重点研	①新学習指導要領の教材研究に励み、確実な学習内容の定着を図る。 ②新しい生活様式を意識し、地域や異学年と関わりが持てるよう、情報機器の活用に取り組む。 ③プログラミング教育を検討し、ICT支援員と連携して効果的に情報機器を活用できるようにする。
<b>豊かな心</b> 担当 B 人権・福祉・交流	①道徳の学習で、年間指導計画を見直ししながら、教科書を活用した授業を充実させ、道徳的価値を味わえるようにする。学習後に振り返りをして、自分の生活に生かせるようにする。 ②特別支援学校や異学年との交流を充実させ、実体験を通して互いの理解が深まるようにする。
<b>健やかな体</b> 担当 B 体力・健康・環境	①「きたつなハンドブック」で、健康で安全な過ごし方の共通理解を深め一貫性のある指導を続ける。 ②児童が目標を持ち、互いに動きを高め合えるように、運動会を実施する。 ③縄跳び集会等、運動委員会主催で主体的に行う。
<b>地域連携</b> 担当 地域連携部	①地域コーディネーターと連携を図りながら、学習活動を通して児童と地域の方とのつながりが更に深められるようにする。 ②コロナ禍でも、校内TV等工夫し、ほっこりサポーターの認識度を高め、協力者を増やすようにする。
<b>安全防災教育</b> 担当 安全防災教育推進	①新しい教科書を見通して「北綱安全防災プラン」を更新し、各教科の中で安全防災の資質能力を高めるようにする。 ②訓練や知識理解や資質能力を高める学習を進め、地域との関わりを意図的にもつようにする。
<b>特別支援教育</b> 担当 専 特別支援教育、専任	①個別支援学級のチーム指導や障害種別に応じた指導の在り方を校内委員会で見直し、環境整備をして指導するようにする。 ②個別の指導計画に基づいて、特別支援教室(チャレンジルーム)での指導を継続して行う。
<b>働き方改革</b> 担当 教務	①職員室と事務室をつなげる工事の予定あり。手狭な職員室を少しでも広くすることで、教職員の働きやすさにつなげる。 ②印刷や消毒等、職員室アシスタントさんをお願いできることをルール化しながら増やしていく。
<b>学校運営協議会</b> 担当 教務	①協議会や、諸行事、授業参観等を通して学校と地域の情報共有、協力体制、共通理解を更に深めていく。コロナ対応が続くようでも、紙面や動画等工夫して学校の様子を伝えられるようにする。 ②委員の方々との意見交流を更に充実させ「地域学校協働活動」を推進する。
<b>いじめへの対応</b> 担当 B 児童指導	①教職員のいじめに対する意識をより高くし、いじめをしない、させない、ゆるさない児童を育成する。 ②児童理解の時間を設け、共通理解をもつことで、組織的対応を迅速に行うことを継続する。
<b>人材育成・組織運営(働き方改革)</b> 担当 教務、メンター研	①ミドルリーダーが各担当の提案を行い、経験を重ねることで、学校の活力を生み出し、学校を運営する力を育てる。 ②教科分担制を充実させ、学年がチームとなって児童を指導できるようにする。